

公益社団法人 茨城県青少年育成協会 令和5年度事業報告及び収支決算について

[事業報告]

実施事業の概要

明日の茨城を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、すべての県民の願いです。

しかしながら、情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化に伴い、家庭や地域の教育力が低下している今日、規範意識や社会性の低下、思いやりの欠如、いじめ、不登校・ひきこもり・ニート、さらには、貧困問題等様々な問題が指摘されています。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が、青少年に対して様々な負の影響を与える中、孤独・孤立問題の顕在化など、その取り巻く状況は、ますます深刻化してきています。

このような青少年を取り巻く問題は大人社会の反映であり、大人自身も生きる姿勢が問われていることは言うまでもありません。

そのため、地域の大人自らが、その役割を自覚し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力していく「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及促進を県民運動の根幹に据え、各種事業に取り組みました。特に「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」をとおして、課題を抱える青少年への理解を深めるとともに、地域ネットワークの構築に向けた情報提供・共有に努めました。

また、青少年の自立心や社会性を育む「少年の主張茨城県大会」を継続して開催しました。

さらに、青少年育成県民運動の更なる発展を目指し、青少年育成市町村民会議の全市町村設置の働きかけとともに、関係機関・団体との連携を一層図りながら、次の7項目を重点目標として各種活動を展開しました。

重点事業

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及推進
- 2 「あいさつ・声かけ運動」の推進
- 3 「少年の主張茨城県大会」等青少年主張大会の充実
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進
- 5 「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」の推進
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、その他関係団体との連携強化
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の推進では、「大人のマナーアップ宣言」のほか、関係機関・団体と連携して街頭キャンペーンを実施するとともに、市町村との連携による啓発物品の共同作製をとおして普及啓発に努めた。
- 2 「あいさつ・声かけ運動」では、11月を強調月間と定め、関係機関・団体と連携し、街頭キャンペーンを実施するとともに、青少年育成市町村民会議、関係団体等の取り組みの支援に努めた。
- 3 「少年の主張茨城県大会」については、本格的に開催することができ、青少年に社会の一員であることの自覚を促す効果的な機会となった。また、これに併せ、主張発表記録集及び県大会出場者全員の主張発表を収録したCDを作成し、中学校、市町村及び正会員団体等に配付して、青少年の健全育成に対する県民の理解と関心の向上に努めた。
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進では、小学生及び中学生から「家庭の日」を主題とした絵画やポスターを募集した。市町村から推薦を受けた作品について、専門家による審査会を設置し、最優秀作品を選定した。また、全作品を機関紙「あけぼの」で紹介するとともに、県央・県南二カ所で作品展を開催し、「家庭の日」の普及啓発の充実に取り組んだ。
- 5 地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業では、困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募し、3団体に補助金を交付するとともに、活動に対する助言等をとおして連携・協働を促進した。
また、地域での子どもたちとの関わり方をテーマに関係団体による合同研修会を開催し、パネルディスカッションやワークショップを通して認識を深めるとともに情報共有に取り組んだ。
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTAその他関係団体との連携強化では、青少年育成市町村民会議が開催する各種会議、研修会等に出席・参加し、情報の提供や活動の支援を行った。
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実では、若者ボランティアチームの設置・運営を通して青少年リーダーの養成を図るとともに、当館利用者へのサービスの向上及び会館の環境整備に努めた。

実施事業の内容

I 県民運動推進事業

◎ 県青少年育成協会の組織体制

役員	会 長	1名						
	副会長	7名						
	理 事	29名	(会長、副会長を含む)					
	監 事	2名						
事務局職員	事務局長	1名	副主査	1名	係長	1名	主事	1名
	常勤嘱託員	1名	臨時職員	2名	非常勤嘱託員	5名		

1 (公社)茨城県青少年育成協会の運営

(1) 総会

①令和5年度定時総会

- 開催日 令和5年6月21日(水)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席正会員 92名中 86名(書面表決者34名を含む)
- 議 事 以下の議案について審議し、承認可決した。
 - 議案第1号 令和4年度事業報告及び収支決算について
監査報告
 - 議案第2号 基本財産の一部処分(取り崩し)について
 - 議案第3号 役員の補欠選任について
- その他 次の項目について説明した。
 - (1) 公益社団法人 茨城県青少年育成協会への要望等について
 - (2) 今後の実施事業について
- ・ 宿泊事業の終了について、事務局長から説明した。
- ・ 退任する理事から退任の挨拶があった。また、理事に就任する被選任者から就任の挨拶を行った。

(2) 理事会等

①理事会

(第1回)

- 開催日 令和5年6月2日(金)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席理事 29名中 22名
- 出席監事 2名中 2名
- 議 事 以下の議案について審議し、承認可決した。
 - 議案第1号 令和4年度事業報告並びに収支決算について

監査報告

議案第2号 令和5年度定時総会の開催について

議案第3号 基本財産の一部処分（取り崩し）について

議案第4号 役員補欠選任について

議案第5号 「役員の旅費に関する規程」の一部改正について

○報告事項 以下について報告した。

(1) 会長報告

事業の執行状況について（令和5年5月末日まで）

(2) 正会員の継続確認の結果について

○その他 次の項目について説明した。

(1) 事業の効率的執行について

・定時総会で退任予定の理事から退任の挨拶があった。

(第2回)

○開催日 令和5年9月28日(木) (少年の主張茨城県大会終了後に開催)

○会場 常総市地域交流センター (常総市)

○出席理事 29名中 19名

○出席監事 2名中 0名

○議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 茨城県立青少年会館「指定管理者」の申請について

(第3回)

○開催日 令和5年12月20日(水) (「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」合同研修会終了後に開催)

○会場 県立青少年会館 (水戸市)

○出席理事 29名中 20名

○出席監事 2名中 2名

○議事 以下の議案について審議し、承認可決した。

議案第1号 令和6年度活動方針並びに事業計画について

議案第2号 令和6年度予算について

議案第3号 宿泊業務の廃止に伴う公益法人の変更認定申請について

議案第4号 役員改選の基本方針について

○報告事項 以下について報告した。

(1) 会長報告

事業の執行状況について（令和5年11月末日まで）

○その他 次の項目について説明した。

(1) 令和5年度青少年健全育成茨城県推進大会について

②正副会長会議（役員連絡会議）

正副会長会議は協議の他、役員相互の情報の共有として、事業の執行状況、

関係団体への出席結果及び事務局からの報告等を行った。

(第1回)

- 開催日 令和5年4月26日(水)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者 正副会長8名中6名出席
- 内容 令和4年度決算状況及び令和5年度予算の方向性などについて協議した。

③監査の実施

- 開催日 令和5年5月29日(月)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 内容 令和4年度事業報告及び収支決算について、中村弘行監事及び堀江英夫監事が監査を行った。

2 県民運動推進事業

(1) 青少年育成活動推進意見交換会

①第1回

- 開催日 令和5年6月21日(水)(定時総会において開催)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者数 100名
- 講演 演題 「弘道館と偕楽園 —徳川斉昭の教育思想—」
講師 茨城県立歴史館 史科学芸部 歴史資料課
特任研究員 永井 博 先生

(2) 広報活動

青少年育成県民運動を広報啓発するため、ホームページ、機関紙等の各種媒体を活用して広報活動を行った。

○機関紙「あけぼの」

- ・第136号 令和6年3月発行 16ページ 6,200部
- ・配付先 市町村、市町村民会議、正会員、賛助会員、県庁関係課、
県等関係機関・団体、都道府県民会議等

(3) 各種表彰

①青少年団体等顕彰

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、青少年、青少年育成団体及び青少年育成指導者を表彰し、その活動を奨励した。

○青少年団体等顕彰選考委員会

- ・開催日 令和6年1月16日(火)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者 選考委員9名中8名出席

○顕彰式

- ・開催日 令和6年2月28日(水)(青少年健全育成茨城県推進大会に

において開催)

- ・会 場 アダストリアみとアリーナ (水戸市)
- ・出席者 1,015 名
- ・顕彰件数 10 件 (青少年 2 名 青少年育成団体・グループ 2 団体
青少年育成指導者 6 名)

②感謝状贈呈

令和 5 年度青少年育成県民運動に貢献した団体等へ感謝状を贈呈した。

○感謝状贈呈式

- ・開催日 令和 6 年 2 月 28 日(水) (青少年健全育成茨城県推進大会に
おいて開催)
- ・会 場 アダストリアみとアリーナ (水戸市)

○贈呈件数 11 件 (敬称略)

- ・多額の活動助成金を寄せられた団体
ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 (水戸市)
- ・少年の主張茨城県大会に貢献された法人・団体
株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー (鹿嶋市)
青少年育成常総市民会議 (常総市)
- ・「あいさつ・声かけ運動」に貢献された法人
株式会社 フットボールクラブ水戸ホーリーホック (水戸市)
株式会社 茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント (水戸市)
- ・「青少年健全育成茨城県推進大会」に多額の活動助成金を寄せられた法人
公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団 (東海村)
- ・「家庭の日」絵画・ポスターに貢献された法人
ぺんてる株式会社 茨城工場 (小美玉市)
イオンモール水戸内原 (水戸市)
イオンモールつくば (つくば市)
- ・子ども・若者アシスト i (アイ) 事業に貢献された法人・団体
水戸農業協同組合 (水戸市)
茨城県女性のつばさ連絡会中央地域 (水戸市)

(4) 会議等への出席

青少年育成県民運動の連携を図るため、県関係機関、団体が行う青少年健全育成関係諸会議、大会等へ出席・参加し、協力・連携を深めながら効果的な運動の推進を図った。

また、19 の機関、団体の事業に対し後援を行った。

○関係機関・団体との連携先 (12 機関団体)

- ・茨城県青少年健全育成審議会 ・茨城県子ども・若者支援地域協議会
- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会
- ・茨城県安全なまちづくり推進会議 ・茨城県暴走族対策会議

- ・“社会を明るくする運動”茨城県推進委員会
- ・チャレンジいばらき県民運動
- ・茨城県ユースホステル協会
- ・全国青少年育成県民会議連合会
- ・公益社団法人 茨城原子力協議会
- ・公益財団法人 茨城県暴力追放推進センター
- ・茨城県 20 歳未満喫煙防止対策協議会

(5) 青少年心理アドバイザーの派遣

青少年育成者の資質向上と地域活動の促進を図るため、青少年心理やカウンセリング等に専門的な技術や知識を有する方を「青少年心理アドバイザー」として登録し、地域で開催する研修会等へ講師として派遣した。

- ・青少年心理アドバイザー 15 名（うち 1 名は新規）
- ・派遣 8 回

(6) 青少年関係事業の相談等

青少年団体活動、青少年育成活動に関する相談に応じた。

3 青少年育成県民運動の周知強化事業

青少年育成県民運動の充実と一般県民等へ更なる周知を図るため、賛助会員及び事業協賛金等の募集活動を行った。

(1) 新賛助会員の確保

○実績 17,000 円（新規加入 特別賛助会費 17 口）

(2) 協賛金・活動助成金等の受入等

○協賛金	水戸西ライオンズクラブ	50,000 円
	日本たばこ産業株式会社東関東支社	50,000 円
○活動助成金	ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区	300,000 円
○事業助成金	公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団	500,000 円

(役員等に関する事項)

○令和 5 年 4 月 1 日、役員（正副会長、理事、監事及び青少年心理アドバイザー等）が、協会管理下の活動中に不測の事故にあった際に対応する傷害保険に加入した。

II 地域活動推進事業

1 市町村民会議活動の推進

地域において青少年育成運動を総合的に推進している市町村民会議等の活動と組織充実のために支援を行った。

(1) 市町村民会議活動の支援

市町村民会議の活動が促進されるよう、訪問、電話等により活動の支援を行った。

(2) 市町村民会議の結成促進

市町村民会議未結成市町へ訪問し結成促進を図った。

- ・訪問先 阿見町 利根町

(3) 地区市町村民会議連絡会活動の支援

地区市町村民会議連絡会の研修会に出席するなど、活動の支援を行った。

- ・水戸地区青少年育成市町村民会議連絡会（令和5年度事務局：大洗町）
- ・大宮地区青少年育成市村民会議連絡会（ひたちなか市）
- ・県北地区青少年育成市町村民会議連絡会（日立市）
- ・鹿行地区青少年育成会連絡会（神栖市）
- ・土浦地区青少年育成市民会議連絡会（つくば市）
- ・稲北地区青少年育成市町村民会議連絡会（河内町）
- ・県西東部地区青少年育成市町村民会議連絡会（八千代町）
- ・県西西部地区青少年育成市町村民会議連絡会（古河市）

2 市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会

○開催日 令和5年4月26日(水)

○会場 県立青少年会館（水戸市）

○出席人数 87名（31市町村）

○内容

- ・青少年育成県民運動の推進（実施事業の具体的な説明）
- ・「少年の主張茨城県大会」主張発表の映像上映
- ・「実践事例発表」

①「青少年・若者が認められる場所をともに考える」（水戸市）

水戸市教育委員会事務局 教育部 生涯学習課

社会教育係長 鎌田 洸一 氏

②「助川小・学校子ども会について ― 子ども会の再生、そして学校と地域の連携 ―」（日立市）

助川学区コミュニティ推進会 青少年育成部

学校子ども会サポーター 代表 中村 雅利 氏

③「青少年育成のための地域活動 ―本部事業と支部活動について―」

（下妻市）

青少年を育てる下妻市民の会 会長 山崎 明正 氏

- ・参加者との意見交換「青少年活動と地域」

講師：茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 先生

3 青少年育成市町村民会議訪問懇談会

当協会役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の普及と市町村民会議の活動促進を図った。

○懇談会実施市町村民会議

- ・土浦市まちづくり市民会議（土浦市）
令和5年12月8日(金) ウララ2ビル8F（土浦市教育委員会生涯学習課 応接室） 3名出席
- ・青少年育成龍ヶ崎市民会議（龍ヶ崎市）
令和5年12月13日(水) 龍ヶ崎市役所 6名出席
- ・大子町青少年育成町民会議（大子町）
令和5年12月15日(金) 大子町立中央公民館 4名出席
- ・その他、情報収集のために、事務局で全市町村を訪問した。
(1月23・24・25・26・29日5日間)

4 地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業の実施

生きづらさを抱える子ども・若者が、支援の網の目からこぼれ落ちてしまわないよう、地域での連携した支援を進める孤立0(ゼロ)の取り組みの全県的な波及と複合的支援活動の発展を図る「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業」を実施した。

(1) 合同研修会の実施

不登校・ひきこもり、貧困問題など、子ども・若者が抱える生きづらさについて理解を深めるため、青少年育成団体等の合同研修会を開催した。

- 開催日 令和5年12月20日(水) 13:00~15:30
- 主催 (公社)茨城県青少年育成協会
- 共催 茨城県PTA連絡協議会
茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)
茨城県生涯学習・社会教育研究会
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 内容 パネルディスカッション・ワークショップ
「地域で子どもたちに関わるということ」
ファシリテーター：NPO法人教育のためのコミュニケーション
代表理事 山崎 一希 氏
パネリスト：フリースペースにじ(牛久市)
ぼくらの教室(ココプレイス)(鹿嶋市)
NPO法人トモニトウ(常陸大宮市)

○参加者 92名

(2) 「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」モデル事業の実施

困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募・指定し、1団体10万円を限度として助成した。

また、事業内容を機関紙「あけぼの」で紹介した。

No.	実施団体（所在地）	事業名
1	フリースペースにじ （牛久市）	誰ひとり とり残さない 2030 ミッション
2	ぼくらの教室 （鹿嶋市）	ココプレイス（多世代交流型支援活動）
3	NPO 法人トモニトウ （常陸大宮市）	大人や文化と子供たちをつなぐ体験活動と学び 場づくり

Ⅲ 青少年健全育成事業

1 少年の主張茨城県大会

少年の社会への関心や視野を広めるとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などの育成を図るため、県内中学生から主張文を募集し、優秀者 10 名が発表する県大会を開催した。

○発表大会 令和 5 年 9 月 28 日（木・平日）常総市地域交流センターで開催

○共 催 常総市 常総市教育委員会 常総市校長連絡協議会

○参加者 約 750 名（常総市内中学生（市内 6 校、市町村民会議、青少年育成関係者等）

○応募総数 11,627 作品

（公社）茨城県青少年育成協会への推薦 251 作品

○参加中学校数 138 中学校（33 市町村）

○最優秀者（茨城県知事賞） 潮来市立日の出中学校 3 年

根本 泰誠（ねもと たいせい）さん

・全国大会出場候補者として、最優秀者（茨城県知事賞受賞者）を関東甲信越静岡ブロック審査（書類審査）へ推薦した結果、11 月 12 日（日）開催の全国大会に出場を果たし、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞した。（本県からの全国大会への出場は 10 年ぶりであった）

・発表記録集 850 部及び主張発表（10 名）を収録した CD 500 枚を作成し、全中学校、市町村教育委員会、市町村民会議及び正会員団体等へ配付した。

・主張発表（10 名）映像を収録した DVD を作成し、常総市内の中学校及び発表者へ贈呈するとともに、市町村で開催される研修会に活用を図った。

Ⅳ 明るく楽しい家庭づくり・「地域親」推進事業

1 大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—の推進

地域の大人や親一人ひとりが、自分自身を省みて子どもたちの手本になるよう心がける「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及啓発を図った。併せて「ながらスマホ 0（ゼロ）」県民運動の普及啓発を推進した。

『大人のマナーアップ宣言』

- ・スマホを閉じて子どもに目を向ける
- ・子どもの笑顔をつくれる大人になる 等

(1) 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンの実施

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンを実施した。

日 程	実施場所	実施主体	参加者数
11月 1日(水)	日立駅 常陸多賀駅 十王駅	日立市青少年育成推進会議	239名
11月 2日(木)	小木津駅 大甕駅		
11月 1日(水)	土浦駅 神立駅 荒川沖駅	土浦市まちづくり市民会議 青少年育成部 土浦市青少年相談員連絡協議会	271名
11月 2日(木)	新鉾田駅	青少年育成鉾田市民会議	18名
11月 8日(水)	下館駅	青少年育成筑西市民の会	174名
11月 12日(日)	ケーズデンキ スタジアム水戸	(公社)茨城県青少年育成協会	10名
12月 3日(日)	アダストリア みとアリーナ	(公社)茨城県青少年育成協会	9名

(2) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ（「あいさつ・声かけ運動」と併記）の共同作製を斡旋した。

○大人のマナーアップ のぼり旗

- ・市町村民会議等共同作製 3市町 120枚

○大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ

- ・市町村民会議等共同作製 10市町 27,500個
- ・(公社)茨城県育成協会作製 12,500個

2 「あいさつ・声かけ運動」の推進

地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる「きっかけ」とするため、家庭、学校、地域の中で日々「あいさつ・声かけ」が交わされるよう、県民や関係機関・団体への普及啓発に取り組むとともに、青少年育成市町村民会議等が推進主体になって地域で運動を展開するよう支援した。

(1) 「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーンの実施

【再掲】

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンを実施した。

(実施日程、場所等は、「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」を参照)

(2) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ（「大人のマナーアップ運動」と併記）の共同作製を斡旋した。

○あいさつ・声かけ運動等 のぼり旗

・市町村民会議等共同作製 10市町 785枚

【再掲】

○大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ

・市町村民会議等共同作製 10市町 27,500個

・(公社)茨城県育成協会作製 12,500個

3 明るく楽しい家庭づくり運動の推進

(1) 「家庭の日」の推進

家族の絆を深め、家庭を大切にし、明るく豊かな家庭を築く「家庭の日」（第3日曜日）を推進した。

① 「家庭の日」絵画・ポスターの募集

市町村及び市町村民会議に小学生の部、中学生の部、各3作品以内として募集を行った。

市町村及び市町村民会議から推薦のあった作品については、専門家等による審査委員会の審査を行い、最優秀作品6点を決定した。

最優秀賞受賞者には、「ぺんてる賞」として、ぺんてる株式会社 茨城工場様から記念品が贈られ、令和6年2月28日(水)に開催した青少年健全育成茨城県推進大会における表彰式において表彰した。

また、推薦作品は、機関紙「あけぼの」及びホームページで紹介するとともに、イオンモール水戸内原、イオンモールつくばを会場に、それぞれ1週間の展示を行い、「家庭の日」の普及を図った。

○応募状況

- ・市町村応募数 (30 市町村)
小学生の部 3,516 作品 中学生の部 326 作品 合計 3,842 作品
- ・県青少年育成協会への推薦
小学生の部 86 作品 中学生の部 52 作品 合計 138 作品

○「家庭の日」絵画・ポスター審査

- ・令和6年1月16日(火) 県立青少年会館(水戸市)
- ・審査委員会

茨城県学校長会(茨城県教育研究会)
茨城県福祉部子ども政策局 青少年家庭課
茨城県PTA連絡協議会
日本ボーイスカウト茨城県連盟
(公社)茨城県青少年育成協会

○「家庭の日」絵画・ポスター展示

- ・令和6年1月23日(火)～1月29日(月)
イオンモール水戸内原 2階イオンスタイル前通路
 - ・令和6年2月2日(金)～2月8日(木)
イオンモールつくば 1階ウエストコート通路
- ※作品の展示・撤去については、「青少年を育てるつくば市民の会」の多大な協力により効率的に作業を進めることができた。

○最優秀賞受賞者

- ・賞状の授与及び記念品(協賛:ぺんてる株式会社 茨城工場)の贈呈
- ・令和6年2月28日(水) 青少年健全育成茨城県推進大会で表彰

No.	氏名	学校・学年	タイトル
1	宮本 陽菜	水戸市立内原小学校 5年	今年もとれた!家族で味わう初スイカ
2	川井 樹	石岡市立柿岡小学校 5年	ボクの家族とキリンの家族
3	上山 椋太	わかすぎ学園 那珂市立菅谷東小学校 3年	ぱぱ、見て生きてるよ
4	飯村 愛仁衣	結城市立結城南中学校 2年	「家庭の日」ポスター
5	軍司 蒼士郎	常陸大宮市立大宮中学校 3年	「気持ちがいいね!」
6	大島 千佳	筑西市立協和中学校 1年	楽しい日々

4 青少年健全育成茨城県推進大会

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会する大会を開催し、青少年団体等顕彰式等の「表彰式」や、少年の主張茨城県大会の「事業報告」の他、少年犯罪に長くかかわってきた元徳島県警の秋山博康氏の講演会を通して、子ども・若者育成支援活動への積極的な参加を呼びかけ、青少年育成県民運動のより一層の理解と啓発を図った。

- (1) 開催日 令和6年2月28日(水) 13:00~15:20
- (2) 主催 茨城県 (公社)茨城県青少年育成協会
青少年育成市町村民会議
- (3) 協賛 ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団
- (4) 会場 アダストリアみとアリーナ(水戸市)
- (5) 参加者 1,015名
- (6) 内容 ○開会式
 - ・開会のことば
 - ・主催者あいさつ
 - ・来賓祝辞
 - ・来賓紹介○表彰式
 - ・「家庭の日」絵画・ポスター表彰式
 - ・感謝状贈呈式
 - ・青少年団体等顕彰式○事業報告
令和5年度少年の主張茨城県大会 茨城県知事賞受賞
令和5年度少年の主張全国大会
国立青少年教育振興機構奨励賞受賞
潮来市立日の出中学校 3年 根本 泰誠 さん
- 講演会
「リーゼント刑事が語る！少年犯罪の裏側にある問題とその
予防策とは」
講師 元徳島県警 捜査第一課警部
リーゼント刑事 秋山 博康 氏

V 非行防止・社会環境浄化推進事業

1 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の推進

茨城県及び茨城県薬物乱用防止指導員協議会が主体となって実施する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に市町村民会議と共に参加協力をした。

(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動^{ろく にろく}6.26 ヤング街頭キャンペーンへの参加活動

- ・実施日 令和5年6月24日(土)
- ・場 所 水戸駅

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」看板設置による広報啓発活動

薬物乱用防止を啓発する看板を県立青少年会館に設置して広報啓発活動を行った。

2 ^{にじゅっさいみまん}20歳未満の喫煙防止活動の推進

茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会が主体となって実施する20歳未満喫煙防止街頭キャンペーンに、国・県関係機関、市町村民会議、県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)、県更生保護女性連盟、県たばこ販売協同組合、日本たばこ産業(株)茨城支社等とともに参加協力し、20歳未満の喫煙防止啓発活動の推進を図った。

- ・実施日 令和5年7月13日(木)
- ・場 所 水戸駅、日立駅、土浦駅、取手駅、下館駅
- ・参加者総数 164名

3 「いばらき青少年・若者プラン」に呼応した活動の推進

茨城県等が主体となって実施する「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について、青少年を取り巻く関係者の理解を深める活動を集中的に行い、有害情報から青少年を守るフィルタリング普及啓発活動を推進した。

4 安全なまちづくり県民運動の推進

茨城県安全なまちづくり推進会議が主体となって実施する広報啓発活動などに協力し、青少年が安心して暮らせるまちづくりを推進した。

VI 青少年会館運営事業

1-1 茨城県立青少年会館(研修室)の運営<公益目的事業>

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年及び若者の研修、学習、その他の活動を促進することを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 青少年等に対する低料金での施設貸与
- (2) 利用者アンケートの実施
- (3) ホームページ等による広報活動

1-2 茨城県立青少年会館（研修室）の運営＜収益事業＞

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年等以外に対する施設貸与を行った。今年度の前半は順調に利用件数が伸びていたが、年度後半に入ると減少が続き、全体でも前年度より減少した。

	令和4年度	令和5年度	前年度比
1-1 青少年等利用件数	441件	439件	99.5%
1-2 一般(青少年等以外)利用件数	1,610件	1,483件	92.1%
合計	2,051件	1,922件	93.7%

2-1 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営＜公益目的事業＞

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年及び若者の健全な旅行を励行し、規則正しい行動を習得させることを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 青少年等に対する低料金での施設貸与
- (2) 青少年団体等の引率者、関係者に対する割引料金の適用
- (3) ホームページ等による広報活動

2-2 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営＜収益事業＞

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年等以外に対する施設貸与を行った。宿泊室の複数利用者に対する割引料金の適用、洗濯機・乾燥機の継続設置、アメニティグッズの販売等のサービス向上を図り、利用者増に努めた。

	令和4年度	令和5年度	前年度比
2-1 青少年等利用人数	381名	662名	173.8%
2-2 一般(青少年等以外)利用人数	1,178名	1,782名	151.3%
合計	1,559名	2,444名	156.8%

3 青年リーダーの養成に関する事業

(1) 若者ボランティアチーム「いばらきユースプロジェクト」の設置運営

青年たちが自主的な地域活動を通して仲間作りや達成感を体験することで成長し、地域における青年活動のリーダーとなる人材を育てることを目的に「いばらきユースプロジェクト」を組織してボランティア活動を行った。

①本年度登録メンバー 10名（高校生2名、専門学校生1名、大学生2名
大学院生1名、社会人4名）

②結団式

- 開催日 令和5年4月22日(土) 10:00~11:30
- 場所 県立青少年会館(水戸市) アイルーム

- 内 容 結団式を行って活動をスタートさせるとともに、自己紹介、事業の概要説明を行い、メンバーの交流を図った。
- 参加メンバー 5名
- 以降、定期的にミーティングを行い、イベントの企画や準備等を行った。
(カッコ内の数字は参加メンバー数)
 - ・5/28 (8名) ・6/18 (5名) ・7/29 (8名) ・8/27 (3名)
 - ・9/30 (6名) ・12/2 (4名) ・1/28 (5名) ・2/25 (3名)
- ③自主企画イベント「紙ねんどで『パフェ』を作ろう！」
 - 開催日 令和5年10月15日(日) 14:00～16:00
 - 場 所 県立青少年会館(水戸市)
 - 参加メンバー 8名
 - 内 容 小学生20名を対象に、紙粘土や折り紙などを使ったパフェを作った。
当日に希望があれば保護者も一緒に参加してもらうなど、柔軟な対応に努めた。
- ④「水戸黄門漫遊マラソン」応援ボランティア
 - 開催日 令和5年10月29日(日) 12:30～14:00
 - 場 所 四季の原公園(水戸市)
 - 参加メンバー 3名
 - 内 容 気軽に参加できるボランティア活動として、沿道でマラソンランナーを応援するボランティア活動を行った。
- ⑤「茨城県立歴史館 いちょうまつり」ボードアート体験ブースの出店
 - 開催日 令和5年11月11日(土) 9:30～13:00
 - 場 所 県立歴史館(水戸市)
 - 参加メンバー 7名
 - 内 容 県立歴史館いちょうまつりの会場で、子どもを対象に、コルクボードに好きな飾りつけをしてもらう「ボードアート」の体験ブースを運営した。
- ⑥自主企画イベント「紙ねんどで『パフェ』を作ろう！」
 - 開催日 令和6年2月4日(日) 13:30～15:30
 - 場 所 県立青少年会館(水戸市)
 - 参加メンバー 6名
 - 内 容 10/15の同イベントで抽選に外れて参加できなかった子どもたちを対象に、同じ内容でイベントを実施。前回の経験を活かして、親子の制作過程をサポートした。

(2) 子ども・若者アシスト i (アイ)事業の実施

小学生が、地域で学ぶことの楽しさや教えあう喜びを体験することを目的に、地域のマンパワーを活用した学習会、遊び場及び子ども食堂を開催した。子ども食堂は、子ども・若者の育ちを支援するボランティア「アシストメンバー」が主体となって運営を行った。

○内容及び講師

- ・作って遊ぼう プログラミング

CoderDojo 水戸 メンター 大谷 武郎 氏

CoderDojo 水戸 チャンピオン 井川 健一 氏

- ・楽しい遊び場！プレイルーム

協力：いばらきユースプロジェクト

- ・子ども食堂

県立青少年会館1階にあるココリコ食堂及びアシストメンバー等によるカレーライスの提供を行った。また、水戸農業協同組合 様、茨城県女性のつばさ連絡会中央地域 様から食材の提供を受けた。

- 開催日時 ・令和5年 7月22日(土) ・令和5年 8月19日(土)

・令和5年 9月30日(土) ・令和5年10月28日(土)

全日 午前の部 10:00～12:00 / 午後の部 13:00～15:00

- 場 所 県立青少年会館 (水戸市) アイルーム等

- 参加者 (延べ人数)

実施日	プログラミング	プレイルーム	アシストメンバー等
7月22日	16人	8人	10人
8月19日	13人	5人	12人
9月30日	16人	3人	—
10月28日	13人	3人	—
合 計	58人	19人	22人